

平成 30 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社ガーラ  
 代 表 者 代表取締役グループ CEO 菊川 暁  
 (コード番号 4777 JASDAQ)  
 問 合 せ 先 グループ戦略部 部長 ジョーシ・ガブリエレ  
 (TEL 03-5778-0321 (代表))

## 平成 30 年 3 月期業績と前期実績値との差異、 営業外費用（為替差損）及び特別損失の発生に関するお知らせ

平成 30 年 3 月期の通期連結業績が、前連結会計年度の実績値と比較して、差異が生じたので、お知らせいたします。

なお、当社は平成 30 年 3 月期の業績予想は公表しておりません。

### 記

#### 1. 平成 30 年 3 月期通期の連結業績の実績値（平成 29 年 4 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり当期純利益
前期実績 (A)	724	△399	△411	△404	円 銭 △25.53
当期実績 (B)	815	△260	△270	△361	△22.76
増減額 (B - A)	91	138	140	43	—
増 減 率	12.6%	—	—	—	—

#### 2. 平成 30 年 3 月期通期の個別業績の実績値（平成 29 年 4 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前期実績 (A)	258	△288	△300	△350	円 銭 △22.08
当期実績 (B)	150	△129	72	△144	△9.13
増減額 (B - A)	△108	158	372	205	—
増 減 率	△41.7%	—	—	—	—

#### 3. 差異の理由

##### (1) 連結業績

売上高につきまして、スマートフォンアプリ事業において、連結子会社 Gala Lab Corp.が開発したスマートフォンゲームアプリ「Flyff Legacy (フリフレガシー)」について、平成 29 年 1 月の韓国語版のサービス提供開始以来、当社の強みであるグローバルなネットワークを活かした多言語展開による配信を進めており、配信開始後の売上高が概ね順調に推移していることにより、前期と比較し売上高が増加いたしました。

営業利益及び経常利益については、売上高増加に伴う売上総利益の増加があった他、販売費及び一般管理費については、人件費の増加があったものの、マーケティング活動費用が減少したことから微減となり、また、営業外費用については、為替差損 13 百万円の計上を理由として、前期実績値と比較して差異が生じました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、下記「5. 特別損失の発生について」にて記載のとおり当期において特別損失を計上したことによる影響を受けています。

## (2) 個別業績

売上高につきましては、平成28年5月からダウンロード配信を行っている「Arcane（アーケイン）」の売上が減少したことにより前期実績値と比較して減少いたしました。

一方で、営業利益及び経常利益は、当期におけるマーケティング活動費用の減少に伴う販売費及び一般管理費の減少や、当期における貸付金回収に伴う貸倒引当金戻入額 184 百万円、受取利息 19 百万円の営業外収益の計上を理由として、前期実績値と比較して差異が生じました。

当期純利益は、下記「5. 特別損失の発生について」にて記載のとおり当期において特別損失を計上したことによる影響を受けています。

### 4. 営業外費用（為替差損）の発生について

連結業績において昨今の為替相場変動により、営業外費用として為替差損 13 百万円を計上いたしました。

### 5. 特別損失の発生について

連結業績において特別損失として 85 百万円を計上いたしました。

内訳はソフトウェア仮勘定について、一部機能を除却したことに伴う固定資産除却損 72 百万円、一部のスマートフォン・タブレット PC 向けアプリサービスに係る権利金の減損損失 13 百万円をそれぞれ計上いたしました。

個別業績において特別損失として 222 百万円を計上いたしました。

内訳は連結子会社 Gala Lab Corp. から取得したスマートフォン・タブレット PC 向けアプリサービスに係る権利金の減損損失 24 百万円、連結子会社 Gala Lab Corp.、Gala Mix Inc. 及び Gala Connect Inc. の同社株式の関係会社株式評価損として 142 百万円、連結子会社 Gala Lab Corp. に対する関係会社事業損失引当金繰入額として 56 百万円をそれぞれ計上いたしました。

なお、上記、減損損失、関係会社株式評価損及び関係会社事業損失引当金繰入額は、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

### 6. 平成 31 年 3 月期業績見込みについて

本日公表の「平成 30 年 3 月期決算短信〔日本基準〕（連結）」においても記載しておりますが、当社及び当社グループは、スマートフォンアプリ事業における、アプリの開発やダウンロード配信が予定どおりに進まない可能性や、ダウンロード配信開始後のアプリによる課金収入の予想が極めて困難であり、また、オンラインゲーム事業における、既存タイトルのバージョンアップによる業績予想が極めて困難であることから、平成 31 年 3 月期の業績予想の発表を控えさせていただきます。

以 上